



ごちゃまぜの 対話をしよう

ここ、真庭にはいろんなひとが暮らしています。
そして、ひとりひとり違います。

動植物や、森や川、
真庭をはぐくむたくさんの自然も、多様です。

その「多様さ」こそ、共生社会の根っこです。

そんな「多様さ」や「違い」を認めるには、
まずお互いを知ることから。

わたしたちは、
いつか「共生社会」という言葉が
必要なくなるぐらい、あたりまえにしたい。

そのために「対話の輪」を広げたい、と考えています。

共に生きる、一歩目。

ごちゃまぜの対話をしませんか。